

しかおい議会だより

第170号

令和8年度予算

P2

主要事業 PICKUP

P4

The 予算・質疑

P6

臨時・定例議会

P8

町政を問う・一般質問

P9

まちなか会議

P11

鹿追高校出前授業

P12

「感謝」

撮影者 鹿追高校写真部3年

かや もり あおい
萱 森 葵 さん

3月24日 鹿追高校離任式



議会ホームページ

検索

■発行者 北海道鹿追町議会

■2026(令和8)年4月25日発行

[E-mail] gikai@town.shikaoi.lg.jp

[URL] <https://www.town.shikaoi.lg.jp>

2026年4月

一般会計予算



令和8年度一般・全会計予算とともに 過去最大規模 「鹿追型ゼロカーボンシティ」 実現に向け発進



予算審査特別委員会で開会のあいさつを行う清水浩徳委員長

- 新年度の
主な取り組み
- 役場周辺エリアAZEC化改修等事業
 - 瓜幕エリア自然体験留学センター新設等事業
 - 教育プログラムを核とした移住・定住の推進

令和8年度の一般会計予算は、前年度比26億3700万円(33.2%)増の105億8700万円、全会計合計は前年度比28億3385万円(25.9%)増の137億9193万円と、いずれも過去最大規模となった。一般会計の歳出では、「鹿追型ゼロカーボンシティ」実現に向け、町民ホール・トリムセンター・神田日勝記念美術館・健康温水プール及び瓜幕エリア自然体験留学センター改修事業に26億880万円を計上したほか、保育園留学事業・物価高騰対策事業・DX関連事業・新中間処理施設整備負担事業等を盛り込み、大幅な増加となった。

歳入では、国庫支出金が役場周辺エリアAZEC化改修事業交付金等により18億7796万円(35.0%増)、町債がカーボンニュートラル関連事業や鹿追中学校バリアフリー化改修事業等により16億1530万円(313.8%増)と、大きく増した。

一般会計当初予算と人口の推移



※1万円未満切り捨て。各科目ごとの合計は、総合計及び他資料と一致しない。

会計区分	令和8年度(万円)	令和7年度(万円)	比較増減(万円)	増減率(%)
一般会計	105億 8700	79億 5000	26億 3700	33.2
特別会計				
国民健康保険	6億 9471	7億 169	△ 698	△ 1.0
介護保険	5億 7209	5億 7151	57	0.1
後期高齢者医療	1億 4526	1億 984	3542	32.2
企業会計				
病院	7億 3133	7億 1569	1563	2.2
簡易水道	4億 2256	4億 400	1855	4.6
下水道	6億 3897	5億 532	1億 3364	26.4
合計	137億 9193	109億 5808	28億 3385	25.9



令和8年度の主な事業

業を PICK UP

- 💡 ゼロカーボンシティの推進
- 📱 DX推進 🏠 暮らし応援
- 🏠 まちづくり・関係人口の推進
- 🚜 農業振興 🎓 教育支援
- 🏠 防災・減災・国土強靱化

新規・継続

道営土地改良事業

5840万円

美蔓高台地区・瓜幕地区の測量等を実施する。新たに笹川地区及び中鹿追地区の整備事業を実施する。

新規

緊急銃猟対応用無人航空機整備事業

141万円

赤外線・サーモセンサーを搭載した緊急銃猟対応用ドローンを導入し、茂み等に潜む熊にも対応する。

継続

瓜幕エリア自然体験留学センター新設等事業

6億8046万円

瓜幕自然体験留学センターを新築・移転する。また、太陽光発電と自営線活用で瓜幕地区の脱炭素化を推進する。

継続

役場周辺エリアZEC化改修等事業

19億2843万円

(総事業費41億575万円)
町民ホール・トリムセンター・神田日勝記念美術館・健康温水プールの省エネルギー化改修工事を実施する。

継続

不登校支援事業

1220万円

不登校児童生徒が増加傾向にある中、多様なニーズに対応するため支援員を増員し、教育支援センターの体制を強化する。

新規

介護予防センタートイレ改修事業

550万円

指定避難所である介護予防センターのトイレを改修し、避難所環境の改善を図る。

新規

水道スマートメーター整備事業

5375万円

水道を使用する全戸に自動検針用端末を設置し、漏水の早期発見、料金のWeb通知等により住民の利便性向上を図る。

新規

コンビニ交付導入事業

956万円

マイナンバーカードを利用し、住民票の写し・印鑑証明書・税証明書をコンビニで取得できるシステムを導入する。

新規

鹿追創生アカデミアプロジェクト事業

680万円

教育施策を統合的に進める専門人材を配置し、町の教育ビジョン策定・教育移住推進等を行う。

継続

鹿追中学校バリアフリー化改修事業

1億5000万円

鹿追中学校にエレベーター設置及びトイレのバリアフリー化工事を実施する。

新規

保育園留学事業

2665万円

町外の子どもがこども園等に通いながら家族で地域に滞在する体験を通じ、関係人口創出と地域経済活性化を図る。

新規

物価高騰対策事業

5557万円

物価高騰対策として、商品券発行・水道基本料金負担軽減・農業者及び商工業者への支援を実施する。

道路新設改良事業

1億8564万円

有害鳥獣駆除対策事業

540万円

鹿追地区処理施設更新他(下水道事業)

2億2700万円

チョウザメ養殖・加工販売事業

1047万円

患者輸送・スクールバス整備事業

2600万円

公民館他冷房設備整備事業

533万円

新中間処理施設整備負担事業

1億686万円

鹿追高校シェアハウス外構緑化整備

1875万円



つぶやき

■ 子供の引越して札幌へ。高速道路、ひたすら対面通行がづらい。4車線化は2034年完成だとか？

The 予算・質疑

令和8年度の予算がどのように使われるか、各会
3月18日に質疑と審査を行いました。ここでは

計予算審査特別委員会（清水浩徳委員長）を設置し、
その一部を要約してお知らせします。



予算委員会の質疑は、鹿追町議会
ホームページ「議会中継」の「過去
の中継」からご覧いただけます。

教育費

鹿追高校出願者数 低迷の分析と対応は

Q 生徒数確保等のため、鹿追
高校支援に多額の予算を投
じているが、出願者数が伸
びていない。この結果の分
析と今後に向けた対応は。

A 出願者数減の要因は、少子
化・私立高校の無償化・進
路の多様化と考える。道外
からの入学希望者は多い
が、現行制度では受入人数
に上限があるため、枠の拡
大を道教委に要請し、魅力
発信に取り組んでいく。



生徒確保のため整備された寄宿舎

教育費

中高一貫教育 連携強化への取り組みは

Q 鹿追高校への多面的な支援
が行われる中、中高一貫教
育の強みが生かされてい
ない。中学校と高校の連携
強化にどう取り組むか。



中学・高校の連携強化が求められる

A 鹿追高校は連携型中高一貫
校として町が支援してい
る。一貫教育本来の目的が
薄れていたことを課題と認
識し、校長会議や幼小中高
一貫連絡会議を通じて連携
強化に取り組む。

土木費

花とみどり費 予算変更内容は



令和7年度花市

Q 花とみどり費の事業予算が
令和7年度より減少してい
るが、変更した内容は。

A 事業内容は現在協議会で協
議中である。会員数が伸び
ず花苗の確保が困難なた
め、花市から花の特売へ
の変更を計画している。
専門員の助言を得ながら花
のまちづくりに力を入れて
いきたい。

民生費

成年後見支援センターの 運営課題は

Q 成年後見支援センターを運
営するうえでの課題は。

A 成年後見支援センターは社
会福祉協議会に委託してい
る。
相談は増加しているが、専
門職後見人の不足と市民後
見人養成講座の受講者減少
が課題であり、近隣市町村
と連携し対応していく。



成年後見支援事業を社協で実施

総務費

保育園留学事業の 方向性と目標は

Q 委託事業者との間で共有し
ている事業の方向性と具
体的な目標は。



SSハウス等を利用し家族で滞在

A 教育を核とした持続可能な
まちづくりを方向性として
共有しており、令和8年度
の目標として受入総数18
人、宿泊総数252泊、経
済波及効果168万円を見
込んでいる。

総務費

地域のつながり活動助成金 増加要因は



地域のつながり活動の様子

Q 地域のつながり活動助成金
の予算が令和6年度より大
幅に増えているが、要因は。

A 令和6年度の実績は12件
82万8000円、令和7年
度は9件55万2000円で、
今後2～3件増える見込み
である。
令和8年度は、より使いや
すい制度とするため、予算
を150万円に増額した。

総括質疑

重要施策の町民への 情報発信と広報戦略は

Q 公共施設改修や鹿追高校に
関する事項等、町の重要な
方針が町民に伝わっていない
のでは。長期的な広報戦
略が必要では。

A 広報・SNS等を活用した
情報発信や広報紙での特集
等取り組んできたが、多様
な意見に耳を傾けながら、
長期的な視点での広報戦略
のあり方について内部で議
論していきたい。



長期的な広報戦略を

水道事業会計

上下水道料金改定の 検討状況は

Q 簡易・下水道事業ともに、
将来的に使用料収入のみで
施設等を更新することは難
しいのでは。料金改定を検
討しているか。



水道使用料金改定は

A 令和7年度に経営戦略を策
定し、人口動向や施設更新
計画を考慮した財政シミュ
レーションを行っている。
料金改定は経営戦略の結果
を踏まえて検討し、まずは
経営の効率化に努める。

歳入

町債増加を踏まえた 財政計画は



健全な財政運営を

Q 財政調整基金が減らない一
方、町債は増加している。
起債が増えると将来的な負
担が増えるが、どのような
財政計画を立てているか。

A 財政調整基金は将来に備え
一定水準を維持している。
町債については交付税措置
のある有利な起債を活用し
ながら、償還負担を考慮し
た長期的な視点で財政運営
を行っていききたい。

商工費

ふるさと納税 減少への対応策は

Q ふるさと納税額が減少して
いるが、寄付増加に向けた
施策をどう進めるか。

A ふるさと納税強化に向け、
地域おこし協力隊を配置し
事業者との連携を図ってき
た。令和8年度からは地域
活性化起業人も加えたチ
ームを組み、町の魅力発信と
特産品のPR・販売促進を
一体的に推進していく。



ふるさと納税サイト

農林費

第3バイオガスプラント 今後の展開は

Q 第3バイオガスプラントの
今後の展開は。



環境保全センター

A 既存のプラントで水素事
業・グリーンLPG実証事
業を実施しており、事業者
2社と町の3者で新規プラ
ント整備に関する基本合意
を締結した。基本計画は令
和7年度末に策定予定であ
る。農家数減少により処理
量減少の可能性があるが、
事業費・運営方法を検討の上、
令和12年稼働を目指す。

衛生費

国保病院の運営補助金



国民健康保険病院

Q 令和8年度の国保病院運営
補助金が3億3219万円と
前年度比4000万円減だ
が、経営改善によるものか。
経営分析実施の考えは。

A 消耗品見直し、看護・看護
助手の体制整備、新たな事
業等を検討中である。
経営分析を令和8年度に実
施し経営分析したい。



第1回臨時議会が1月26日に、第1回定例議会が3月10日から23日まで14日間の会期で開催された。一般会計予算は、歳入歳出にそれぞれ1億5098万円を追加し、総額を88億3833万円とした。

1月臨時議会

専決処分*

- 補正予算
- 町葬執行経費 561万円
前鹿追町長・鹿追町名誉町民である吉田弘志氏が令和7年12月28日に逝去されたことに伴い、町葬に係る経費を計上し、町民ホールにて執り行った。
- 衆議院議員選挙費 882万円

令和8年2月8日に執行された衆議院議員選挙の関連経費を計上した。

- 町道除雪委託料 1400万円
- 自動車借上料 100万円
町道の除雪に係る経費を増額した。

※専決処分
緊急時等に町長が議会の議決を経ずに意思決定する制度。

主な補正予算

- 物価高騰対応商品券発行事業 5121万円
物価高騰の影響を受ける町民の家計負担軽減と地域消費喚起のため、全町民に対し1人1万円分の町内限定商品券を配布する。配布は令和8年6月1日からを予定する。
- 国の補助金を活用する。
- 水道基本料金負担軽減対策事業 1717万円
物価高騰対策として、令和7年12月から令和8年5月まで6カ月分の水道基本料金を減免する。地下水利用者には補助金を支給する。
- 町の補助金を活用する。
- 町道除雪委託料 2300万円
- 自動車・機械等借上料 200万円
町道の除雪に係る経費を増額した。

主な質疑

町道除雪委託料算出根拠

Q 除雪委託料を専決処分で増額し、臨時議会ですらに増額するが算出根拠は。

A 専決処分の額は本臨時会までの必要額である。さらなる増額は、3月までの支出見込み額を過去3年間の平均により算出した。

物価高騰対応商品券配布

Q 物価高騰対策として商品券を配布するが、令和7年度中に実施せず、令和8年度に繰り越す理由は。

A 商品券の使用期限が過ぎ生き商品券及び令和7年12月実施の商品券事業と重複し、町民が消費しきれない可能性がある。適切に執行するため、国の補助金を全額繰り越し、会計を明確にすることが望ましい。

3月定例議会

主な条例改正

- 地域保育所条例
認定こども園と同様に、一時保育の受け入れを実施する。
- 学童保育所条例
保護者の就労形態の多様化及び緊急的な保育ニーズ等に対応するため、一時保育の受け入れを実施する。保育料は1人につき月額500円。



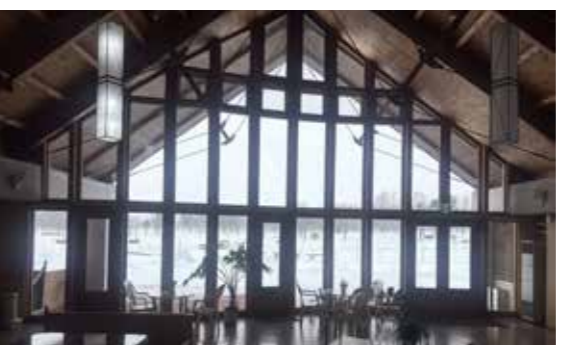
新たに一時保育を行う学童保育所

○鹿追高校寄宿舎設置条例
鹿追高校寄宿舎ペンギンハウスの空き部屋を有効活用するため、教育関係者や同校入学希望者等の宿泊を可能とする。

○簡易水道事業給水条例
災害等の非常時に、給水・排水設備工事が円滑に実施されるよう、他の市町村長が指定した事業者による工事を特例的に認める規定を設ける。

○町立病院運営費補助金 7000万円
国民健康保険病院に対する運営補助金を増額する。

○水道災害用ポンプタンクセット購入 94万円
断水や災害時に備え、ポンプタンクセットを2セット購入する。



ウリマックホールロビーにロールスクリーンを設置

主な補正予算

- ウリマックホールロールスクリーン設置工事 89万円
日射による室温上昇を抑制するため、ウリマックホールロビー西側窓にロールスクリーンを20枚設置する。

町政を問う。

3月16日、3人の議員が一般質問を行った。



町野 正雄 議員

倒木処理

Q 強風による倒木の処理は迅速な対応により処理を完了

A 材としての活用法について、他町と情報共有の必要性は。

Q (答弁) 喜井町長 昨年11月の強風の際、担当職員が町有林の倒木被害を確認し、迅速に処理を行っている。インフラへの影響は処理を終えており、近隣住民が注意すべき点は現時点において特にない。

A 森林環境譲与税は、温室効果ガス削減や災害防止を目的に創設されたものである。風倒木の復旧にも活用可能と考えるが、本町は「みんなの木育広場」の財源として活用している。



強風による倒木

- 有害鳥獣駆除捕獲委託料 119万円
- 有害鳥獣駆除残滓処理費 82万円
ヒグマ・エゾシカ・アライグマ等の捕獲数が大幅に増加したため、駆除に係る経費を増額した。
- 地域農業構造転換支援事業補助金 3449万円

主な質疑

町立病院補助金増額

Q (金子議員) 町立病院運営費補助金を7000万円増額するが、増額の内容と、補正が年度末になった理由は。

A 患者数減少や診療報酬改定等による収入減に加え、人事院勧告に伴う人件費の増加や物価高騰・各種修繕により経費が増加した。

経営改善に取り組み回復傾向であったが、冬期に修繕事業が発生し、さらに収支状況の把握が不十分であったため、本定例会での補正となった。

採択を願う

■請願第1号

- 件名 生産現場に寄り添った農業政策を求める請願
- 請願者 鹿追町農民団体連絡協議会 会長 武藤 敦則
- 紹介議員 清水 浩徳・山口 優子
- 請願趣旨 新たな食料・農業・農村基本計画と酪農及び肉用牛生産の近代化方針が策定されたものの、畑作物

の直接支払交付金の算定方式では農業者の努力が交付金の引き下げ要因となり、生産意欲を著しく損なっている。酪農・畜産においても乳価上昇が所得向上に結びつかず、飼料価格の高止まりによる経営逼迫で離農が深刻化している。農業の未来を守るため、コスト実態に即した交付金算定方式の抜本的な改善と、持続可能な経営を支える所得安定政策を講ずること。◎意見書 関係大臣・衆参議院議長に送付。



産業厚生常任委員会が2団体とまちなか会議を開催

社会福祉協議会

令和8年1月29日、社会福祉協議会の白川悦子会長、役員2人、事務局2人及び保健福祉課長との「まちなか会議」を開催しました。社会福祉協議会からは事業説明を受けたほか、生活困窮者相談窓口の設置や成年後見支援センター開設などの活動が評価され、北海道社会福祉協議会長表彰を受賞したとの報告がありました。

現状の課題として、支援が必要な方にサービスが届かないケースがあることが指摘されました。質疑ではヤングケアラーや成年後見人など各テーマで意見交換を行いました。白

川会長からは、町との情報連携を通じた課題解決に向け、町・議会の支援・理解と多くの関係者と連携の必要性が述べられました。

委員会では今回の意見交換を共通認識とし、再度会議を開くことを確認しました。



会議冒頭であいさつする白川悦子会長

農業委員会

令和8年3月26日、農業委員会の菊池輝夫会長、役員1人及び事務局1人との「まちなか会議」を開催しました。

農業委員会から現状の課題として新規就農が挙げられ、設備投資の負担（畑作で約1億



農業委員会の課題について意見交換

円、酪農では数億円）が大きな障壁であり、第三者継承や子弟就農支援、既存法人からの独立など多角的な取り組みが続けられているものの、全国的にも思うような成果が出ていない等が報告されました。

また、農業委員のなり手不足や継続性、離農による農地の担い手問題、将来を見据えたスマート農業の活用、農業委員と議会の対話機会の確保等も課題として挙げられました。

委員会では今回の意見交換を共通認識とし、関係機関と連携して地域農業の持続的な発展に取り組むと確認しました。

議会カレンダー

内容	日時	場所
まちなか会議 カフェでひとこと	5月 19日 (火) 11:00	平成館
6月定例議会 本会議	6月 11日 (木) 10:00	議場
6月定例議会 本会議(残り)	6月 12日 (金) 10:00	議場
6月定例議会 一般質問	6月 17日 (水) 10:00	議場
6月定例議会 本会議(最終日)	6月 18日 (木) 10:00	議場



定例議会の動画を YouTube で配信します。右記の QR コードを読み取るか、鹿追町議会ホームページの「議会中継」ページからご覧ください。



議会中継

定例議会傍聴及びカフェでひとことは予約不要です。お気軽にお越しください。



デジタル化

町の歴史的情報をデジタル化しては

歴史・文化へのアクセス向上を図る



黒井 敦志 議員

(質問) 貴重な写真・文書・記録等の情報をデジタル化して保存・公開する手法としてデジタルアーカイブを提案する。今回「大正の広重」と呼ばれた絵師・吉田初三郎の鳥瞰図が発見され、町指定文化財に指定されたこともあり、歴史的価値のあるものに光を当て保存し公開する必要性が高まっている。鹿追町100年史を発刊しないが、70年史以降の歴史的情報も、広く町民に伝えていくことが求められる。町の歴史的情報は、教育や研究などへの二次利用にとどまらず、町民の誇りにもつながる。貴重な財産を保存し、公開することによる意義は大きいと考えるが。

(答弁) 喜井町長 本町には、先人が築き上げた歴史を物語る写真や文書、記録が数多く存在する。これらは町民共有の財産であり、整理・保存し、光を当てることが、町民の郷土への誇りと愛を育む上で重要であると認識している。急速に進化するAIをはじめとするデジタル技

術は、膨大な資料の中から必要な情報を円滑に探し出すための強力な一助になる。次期ホームページの刷新等に合わせ、こうした最新技術の動向を注視しながら、町民の皆様や文化に、より親しみをもって触れられるよう利便性の向上を図っていく。



貴重な情報をデジタルで後世へ



山口 優子 議員

町バス運用

町バスを使いやすく オンデマンド交通の検討を

今後とも検討を進める

適正な運行体制の構築を図る。

(答弁) 喜井町長

(質問) 町民からの申請が学校教育課や保健福祉課を経由する現行の方法では一元管理と言えないのでは。

(答弁) 喜井町長 各課の専門性による確認は必要で、現行制度は効率的な運用である。一方で改善の余地も認識しており、運用のあり方、オンデマンド交通については今後も検討を進めていく。

(質問) 町のバス(スクール・患者輸送・福祉等)は目的別に分かれ、申請方法や優先順位が分かりづらい。町民目線での整理と一元管理により、分かりやすく使いやすい運用への改善を求める。併せて人口減少や高齢化を見据え、オンデマンド交通の導入についても検討すべきである。

(質問) 建設水道課への申請一本化など、より効率的で分かりやすい仕組みが必要である。

(答弁) 喜井町長 建設水道課への申請一本化など、より効率的で分かりやすい仕組みが必要である。

(答弁) 喜井町長 公共交通は重要な生活基盤であり、スクールバスは片道1.5km以上など、一定のルールで運用している。建設水道課で一元的に車両管理・運行管理を行い、令和8年度からは運営管理規則を明文化し、

町バスとオンデマンドバスやオンデマンドタクシーを含めた町全体での公共交通最適化の検討を。12年前の実証実験はあるが、AI活用で環境は大きく変化し、先行自治体事例も多数ある。「玄関先まで来てほしい」という声は多い。



国民健康保険病院を出発する患者輸送バス

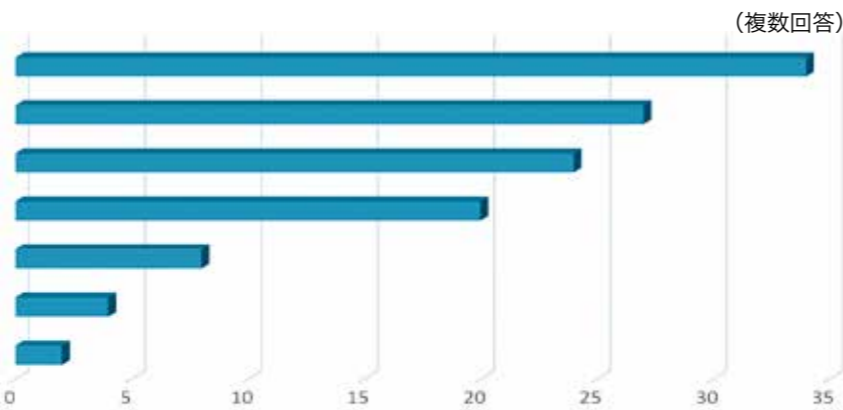
意見交換アンケート

授業に対する満足（理解）度



授業に対する感想

- ・新しい知識が得られた
- ・議員と直接話せて良かった
- ・テーマが難しかった
- ・町のことを考えるきっかけになった
- ・議員の話が難しかった
- ・議員と話せる場があれば良いと思った
- ・「公共」の授業が好きになった



自由回答

普段関わることのできない方々とお話する機会が得られて良かった。

政治に関する知識が少ない状態での議論は難しかったです。

難しい話ばかりで眠くなることもあったが、今まで知らなかった事を知れて良かった。

議員の方と話す機会はめったにないので、今回の授業を通して話すことができて良かった。

自分の町のことを深く知れるいい機会になった。



難しく、興味があまり持てなかった。

議員さんとフリートークのようなものをしたい。

議員さんとの対話や意見交換ができて、政治や町議会について少し興味を持てた。

議員さんと高校生が対話できる場が、とても大切だと思いました。

議会は、私たちが思っているよりも私たちの生活に関わっていることがわかり、とても良かったです。

授業で話す前に、事前に議題やテーマについて調べる時間を設けてもらおうと議論が深まったかもしれません。

町のことについて、もっと知りたいと思いました。

議会に対するイメージが変わりました。



令和8年1月26日、鹿追高校で議員による出前授業を開きました。

議員10人が同校を訪問し、1年生（現在2年生）76人と町政の課題となっている議員定数について意見を交わしました。

今回の出前授業では、令和7年12月の定例会で否決された議員定数の削減案（定数1減）を議題として取り上げました。生徒は事前学習として、令和7年12月定例会の議事録や議案を取り上げた議会中継等を視聴し、授業に臨みました。

授業はクラスごとに行われ、生徒は5グループに分かれて削減賛成派・反対派の議員と議論。

生徒からは「定数が減ると、1人分の脳が議会からなくなってしまう」「1人減ったくらいで何も変わらない、減らせば財政負担の軽減につながる」等の意見が出され、議員も各自の考えを交えながら意見を交換しました。

2月4日には、生徒らが再考した意見とその理由についてグループごとにプレゼンテーションを実施。議員との議論も踏まえ、グループで再度話し合い、自身



の考えがどう深まったり変わったりしたのか賛否の理由を深掘りし、議員が講評を行いました。

生徒の中にはAIを駆使して議員定数の分析を行うなど、タブレットを共有してのディスカッションもあり、時代の変化を感じさせる場面もありました。さらに「投票権を得たら投票するか」「何を基準に投票するか」等、自由に意見交換を行いました。

生徒からは、町議会の議員個々の考え方を発信する議会ホームページの充実等、さまざまな意見も聞くことができました。





高校生と議員が議論 鹿追町議会「出前授業」を開催

1月26日・2月4日の2日間、鹿追高校1年生（現在2年生）と町議会議員（10人）が「議員定数削減」をテーマにグループ討議を行う出前授業が行われました。

最終日には、議論を経て変化した考えや、「よりよい議会」へのアイデアが発表され、高校生ならではの斬新な視点や自由な発想に議員が驚く場面もありました。

生徒は事前に議事録やユーチューブアーカイブで実際の議会討論を予習し、各自の考えをまとめて発表。議員もそれぞれの立場から発言し、活発な意見交換が行われました。

普段の議会では生まれにくい率直な意見が、参加した議員にとっても新たな気づきとなりました。



鹿追高校1年A組
山本 蒼実さん



鹿追高校1年B組
尾岸 大樹さん

参加した生徒からは、「難しいテーマだったが、議員さんと話して議会のニュースを見てみようという気持ちになった」（山本蒼実さん）、「議員さんと話せるのは滅多にないこと。議会をもっと知ることができる冊子などがあれば」（尾岸大樹さん）といった感想が聞かれました。

（取材・インタビュー）金子孝伸



現職議員が講師 第3回議員塾を開催

鹿追町議会では、2期連続無投票当選を受け、なり手不足解消に向けて「議員塾」を開催しました。

議員を目指す方や議会に関心のある方に議会を知っていただくことを目的に、2月27日から3月23日の日程で実施し、40代から70代の女性3人にご参加いただきました。



閉塾式で上嶋議長から塾生に修了証を授与

座学では議員が講師を務め、議会の概要・立候補の方法・議員のやりがいや役割を説明しました。また、塾生は本会議・予算審査特別委員会の傍聴も行いました。



開塾式であいさつする
上嶋 和志 議長

参加者からは「議員さんは遠い存在と感じていたが、町民の皆さんの意見をもっと聞きたいと話していたら、町民としてこれから気づいたことをお伝えしたい。多くの方に議員塾へ関心を持っていただきたい」「会議の傍聴を通して、行政の動きや意思決定の過程を実際に感じるとともに、行政と議員の関係や役割、地域課題への向き合い方を具体的に学ぶことができた」等の感想をいただきました。

（取材・インタビュー）議会事務局

編集後記

最年少をいいことに、ずっと新人議員のふりをしていましたが、気づけば議員生活も12年目になりました。

議員として多くの経験をさせていただき、日々の活動を支えてくださる皆さんに心より感謝申し上げます。

小さな気付きも大きな変化の第一歩目。これからも現場の声を大切に活動してまいります。

議会広報部会 副部長 山口 優子

議会広報広聴常任委員会
広報部会

部長 佐々木康人
副部長 山口 優子
部員 青砥 敏一
金子 孝伸
黒井 敦志